

# 函南町立東中学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年12月7日(火)

## 体験学習やキャリア教育の一環として、中学校で出前授業をしました。

「どうしても生徒に体験させたい」と、熱い思いでこの出前授業を計画してくださったのは数学科担当の淀川裕樹先生。常葉大学在学中に静岡県埋蔵文化財センターの「フェスタ埋文」のお手伝いをしたことがあるとのことで、火起こし体験の補助など大変意欲的に活動してくれました。今回は、5クラスを4グループに編成し直し、センターの仕事の話・土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の4つの体験を行ないました。すでに古代史は終わっていましたが、本物の土器に触れたり、火起こしをしたりすることで、古代の知識を再認識するとともに、生きる知恵なども学ぶことができ、発掘調査の仕事の面白さを知ることができたようです。

### ◎職業講話(センターの仕事)

埋蔵文化財センターの仕事の内容を画像を見ながら興味深く聞いていました。発掘調査や遺物の保存方法などの話を聞いて、遺跡や発掘したものを守っていくことの意義を感じていました。



東中の周辺にも遺跡があることに驚いた。

腕が筋肉痛に...



### ◎火起こし体験

時折強い風が吹くコンディションの火起こしとなりました。デモンストレーションでは、火が起きると拍手と歓声がおこりました。自分たちが弾み車を回す段階になると、男子が積極的に行う姿が多く見られました。リズムよく回し、ようやく火種ができたと思ったその時に強い風が吹き、火種が飛んでいってしまうアクシデントもありましたが、火口にのせた火種を我慢強く息を吹きかけ、やっとのことで火が起きました。火を起こすことがこんなにも大変だったのかと実感したようです。

時折強い風が吹くコンディションの火起こしとなりました。

デモンストレーションでは、火が起きると拍手と歓声がおこりました。自分たちが弾み車を回す段階になると、男子が積極的に

縄文土器・弥生土器・須恵器の違いについての話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、厚さや色、硬さ、重さ、模様などを観察し、よく比べながら分類していました。今まで土器を写真や映像でしか見たことがなかったので、実際に見られて特徴や模様など細かく知ることができたようです。

### ◎土器の分類体験



### ◎石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石の話聞いた後、学校で用意したニンジンやキャベツの芯などの野菜くずを黒曜石でみじん切りや細切れにしました。包丁以外で食材を切るという経験をしたことがなかったので、石器で切れたことに驚くとともに、こんなに性能がいいのかと感心していました。



黒曜石って、こんなに切れるんだ～